

7番 宮島 眞一 議員

1 市政運営について

- (1) 「ぬくもりと豊かさを実感できる明るい未来づくり」の実現が中西市政の基本姿勢である。市長就任後2期目、7年が経過し、産業振興、広域連携、医療・福祉、教育・文化、生活環境と、各分野において公約を実現すべく、これまでいろいろな事業に取り組まされてきている。1期目4年間の取組、それを踏まえた2期目3年間の取組の成果をどのように分析評価しているか。
- (2) 人口が減少する中で、鹿屋市そして大隅地域の将来像をどのように描いているか。
- (3) コロナ禍が収束しない中で、市民生活の安定と経済の振興をどのように図っていくか。
- (4) 鹿屋市そして大隅地域のリーダーとして、今後も市民に寄り添い、そして地域経済の振興を図るため、市長3期目の出馬を目指す考えはないか。

2 防災減災対策について

- (1) 鹿屋市地域防災計画について
 - ① 地域防災計画は、国、県の防災計画の修正等に基づき、市地域防災計画の修正を行うことになっているが、その内容を示されたい。
- (2) 災害時の避難対策について
 - ① 避難場所の確保と避難施設の整備及び避難情報の市民への周知についての取組状況と今後の取組方策を示されたい。
また、コロナ禍における感染症対策及び熱中症対策は万全か。
 - ② 国は昨年4月、新型コロナ感染へのリスクを抑える狙いから、避難先としてホテルの活用を推奨する通知を全国の自治体に出している。これを受けて、本市ではどのように対応しているか。
 - ③ 災害時避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の作成とその活用状況について示されたい。

7番 宮島 眞一 議員

④ 洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設は、避難確保計画の作成・避難訓練の実施が義務付けられているがその取組状況を示されたい。

⑤ 住民一人一人の防災行動計画（マイ・タイムライン）策定に取り組む考えはないか。

(3) 自主防災組織について

① 本市では、ほとんどの地域で自主防災組織が設立されているが活動は低調と聞く。このことをどのように認識しているか。

また、自主防災組織の活性化を図るべきと思うが、その取組方策を示されたい。

(4) 災害ごみの処理について

① 昨年7月の集中豪雨時の災害ごみの処理状況について示されたい。

② 本市の災害廃棄物処理計画の概要を示されたい。

(5) 雨水排水対策について

① 昨年7月の集中豪雨時に被災した5号排水路についての対応状況を示されたい。

② 5号排水路及び新川地区の雨水排水対策の現状と今後の取組方策を示されたい。